

3月の活動

東京マラソン2025でのレースディレクターとしての役目を終えた後、関東近郊のサポート企業様を訪問させていただきました。中には、昨年の私の手術後、初めてお会いする方も多く、再び顔を合わせてご挨拶できたことが、本当にうれしかったです。あたたかい言葉をいただき、「またここからしっかりやっていこう」と気持ちを新たにしました。競技の現場だけでなく、こうして直接お会いできることが、自分にとって大きな力になります。支えてくださる皆さまに、心から感謝しています。これからも全力で走り続けます。



株式会社エンバイオ・エンジニアリング様にてインタビュー動画が公開されました

このたび、副島正純のインタビュー動画が、株式会社エンバイオ・エンジニアリング様の公式サイトにて公開されました。

株式会社エンバイオ・エンジニアリング様は、環境調査や土壌浄化など、環境保全に関わる分野で高い技術力を発揮されている企業で、エンバイオ・グループの中核として、社会や地域の環境課題に真摯に向き合っておられます。特に、従来の掘削除去による土壌汚染対策とは異なり、化学やバイオ技術を活用した「原位置浄化」という低コスト・低環境負荷の工法を導入。調査から計画、施工、行政対応、不動産活用コンサルティングまでを一貫して行う、「技術と知恵」で環境問題を解決するプロフェッショナル集団です。

そんな株式会社エンバイオ・エンジニアリング様は、私が設立したウィルチェアアスリートクラブ「ソシオSOEJIMA」の活動にも深くご理解を示してくださり、設立当初から継続的にご支援いただいています。今回のインタビューでは、車いすレースに取り組むようになったきっかけ、事故からの復帰、競技を職業として続ける決意、そして「ソシオSOEJIMA」立ち上げの背景や、今後の展望について語らせていただきました。

「ソシオ (Socio)」は、スペイン語で「仲間」や「パートナー」を意味します。スポーツを通じて、人と人がつながり、支え合える社会を目指して、これからも活動を続けてまいります。ぜひご覧ください。

▶ インタビュー動画・記事はこちら

株式会社エンバイオ・エンジニアリング | お知らせページ

https://enbio-eng.com/news/20250328-content_2.php



エンバイオ様 本社にて動画撮影



新規パートナー企業のご紹介

このたび、私の競技活動および「ソシオSOEJIMA」の取り組みにご賛同いただき、2社の心強いパートナー企業様が新たにご支援くださることとなりました。あたたかいご支援に、心より感謝申し上げます。

Assist Project様

Assist Project様は、業務用ソフトの導入支援を中心に、地域に根ざした丁寧なITサポートを提供されている企業です。代表の秋山直子さんは、2002年の創業以来、実用的で信頼できるサポートを長年にわたり継続されています。秋山さんとは2012年からご縁があり、これまでも温かく見守っていただきましたが、今回あらためてパートナー企業として正式にご支援をいただけることになりました。



麻布東京デンタルクリニック様

麻布東京デンタルクリニック様は、質の高い歯科医療と丁寧なカウンセリングを大切にされている都心の歯科クリニックです。院長の脇先生には以前から温かく応援していただいております。このたび正式にパートナー企業としてご支援いただけることとなりました。

「頑張る姿を応援したい」という言葉に、大きな力をもらいました。その想いに応えられるよう、これからも競技と向き合い、歩みを止めず進み続けていきます。



伊勢青年会議所・松坂青年会議所合同例会にて講演

今月、数年ぶりに人前での講演活動を再開しました。実は…ひさしぶりのステージに、とても緊張してしまいました(笑)。競技や日々の取り組みの中で感じたこと、そして伝えたい想いを言葉にすると、簡単そうではあるけれど、途中で、感情が込み上げて言葉に詰まってしまう、休憩を挟んでいただく場面もありました。それでも、ご参加くださった皆さんが真剣に耳を傾けてくださり、見守ってくださったことで、気持ちを立て直し、後半には自分の言葉で想いをお届けすることができました。講演後の懇親会では、「あのとき聞けなかった話が聞きたくて」と多くの方が声をかけてくださり、対話を通じて想いをお伝えできたことが嬉しかったです。このような貴重な機会をいただき、そして温かく支えてくださった伊勢青年会議所・松坂青年会議所の皆様に、心より感謝申し上げます。



とても緊張しました！
今後は講演も頑張ります。

3月は、多くのサポート企業の皆さまを訪問させていただきました。それぞれの企業様が仕事に誇りを持ち、真摯に取り組まれている姿にふれ、私たちのほうがたくさんの刺激と力をいただきました。次号からは、順にパートナー企業の皆さまをご紹介させていただく予定です。日頃より温かいご支援を、本当にありがとうございます。